※令和４年度以降入学生用

学校番号	３１９

令和５年度　地歴・公民科

教科	地歴	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新地理総合　（帝国書院）						
副教材等	図説資料　世界の諸地域 NOW 2023　（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界は大きく動いています。また台風・ゲリラ豪雨・大雪など日々の日常生活と、気候危機など「世界」との結びつきや戦争の影響を強く感じる時代になりました。
この科目では地図を使いながら、世界各地域・各国の概要を知るとともに、統計データや略年表などをもとに、見知らぬ「世界」のイメージをつかみます。
また、自然地理的なアプローチで、「防災」を我がこととして捉えられるようにしてください。

２　学習の到達目標

（ａ）ア　地理に関する基礎的な知識を身につけます。
イ　地図や地理情報システム（ＧＩＳ）を活用した汎用的で実践的な地理的技能を身につけます。
ウ　気候危機の下で、我が国の自然災害だけでなく「世界の自然災害や生徒の生活圏での自然災害」について、知識を身につけます。
エ「社会的事象の地理的な見方・考え方」を身につけます。

（ｂ）ア　さまざまな事象について、単なる暗記に重点を置くのではなく、適切な「主題」や「問い」を中心として理解を深めます。
イ　「異文化理解」にとどまらず、グローバルな視座から「持続可能な社会づくり」・「双方向からの国際理解の促進を通じた自他の文化の尊重」について理解を深めます。
ウ　災害を引き起こす自然現象とそれを災害にしてしまう社会的な要因との関係性について考察します。
エ　地理的な事象について、地図や表を適切に扱い、表現できる力を身につけます。

（ｃ）ア　長期休業中などを利用した博物館見学などを行い、さまざまな地理的事象について主体的に学ぶ態度を養います。
イ　身近な生活圏の野外調査や文献調査を通じて、持続可能な地域づくりのための課題、その解決・改善の方策などを考え続けられる態度を養います。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

<table>
<tr><th>観点</th><th>a:知識・技能</th><th>b:思考・判断・表現</th><th>c:主体的に学習に取り組む態度</th></tr>
<tr><td>観点の趣旨</td><td>・地理ならではの「見方・考え方」を身につけることで、知識の概念化をすすめ、さまざまな事象について、名称等の単なる暗記に重点を置くのではなく、適切な「主題」や「問い」との関連で学習できているか。
・地図やＧＩＳシステムを活用した汎用的で実践的な地理的技能の習得に取り組んでいるか。そして引き続く各学習項目でも、読図や作図の技能の習熟を図っているか。
・世界の諸地域の多様性に関わる基礎的・基本的な知識、世界全体の地理的認識が習得できているか。
・気候危機の下で「世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害」についても積極的に学んでいるか。災害を引き起こす自然現象とそれを災害にしてしまう社会的な要因との関係性について理解できているか。</td><td>・改訂された学習指導要領を踏まえ、「社会的事象の地理的な見方・考え方」に基づいて学習活動を行えているか。
・設定された「主題」や「問い」について、さまざまな事象がそこに存在する意味や意義を理解しようと努めているか。
・単なる「異文化理解」にとどまらず、グローバルな視座から「持続可能な社会づくり」・「双方向からの国際理解の促進を通じた自他の文化の尊重」の在り方について考察できているか。
・地域の防災の在り方を、災害の要因である自然現象と社会的な脆弱性の関連の中で捉え、考察できているか。</td><td>・学習の各局面について、より主体的に課題を解決しようとする態度をとっているか。
・我が国の伝統と文化を尊重するとともに、国際社会の平和と発展に寄与する態度を身につけようとしているか。
・持続可能な地域づくりのための地域調査と地域展望について、身近な生活圏の野外調査や文献調査を通じて、各地域の長所と課題、また解決・改善の方策などを、主体的に考え続けられているか。</td></tr>
<tr><td colspan="4">上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</td></tr>
</table>

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	地図	1　地球上の位置と時差 ◇位置・時差と生活 2　地図の役割と種類 ◇地球儀と地図 ◇地形図や統計地図の利用 ◇ GIS の活用	a：地球上の位置・時差について、理解できているか。地球儀や地図の役割について理解できているか。 b：日本の位置と領域について、世界的視野から日本の位置をとらえているか。 c：異なる場所間の移動で生じる、時差による生活への影響をイメージできているか。 d：地図や GIS を目的に応じて使えるか。	定期考査 提出物 授業態度 ワークシート	定期考査 提出物 授業態度 ワークシート	定期考査 提出物 授業態度 ワークシート
	生活文化の多様性と国際理解	1　世界の地形と人々の生活 ◇大地形・小地形など 2 世界の気候と人々の生活 ◇気温・降水・植生など ◇各気候帯での生活	a：世界の地形・気候・言語や宗教・各地域の歴史的背景が人々の生活に与える影響の大要について理解できているか。 b：それぞれの気候帯による生活文化への影響を、諸資料からイメージできているか。 c：写真資料から生活文化を読み取れているか。	定期考査 提出物 授業態度 ワークシート	定期考査 提出物 授業態度 ワークシート	定期考査 提出物 授業態度 ワークシート
二学期	生活文化の多様性と国際理解	3 世界の言語・宗教と人々の生活 ◇言語と生活文化 ◇宗教と生活文化 南アジア・西アジアの事例に注目 4 歴史的背景と人々の生活 ◇ラテンアメリカ・サハラ以南アフリカ 5 世界の産業と人々の生活 ◇農業・工業・地域統合と貿易	a：世界の言語や宗教・各地域の歴史的背景が人々の生活に与える影響の大要について理解できているか。 b：それぞれの言語や宗教、歴史的背景による生活文化への影響を、諸資料からイメージできているか。 c：関係地図から生活文化を読み取れているか。	定期考査 提出物 授業態度 ワークシート	定期考査 提出物 授業態度 ワークシート	定期考査 提出物 授業態度 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	地球的課題と国際協力	1　地球的課題と国際協力の基本 2　地球環境問題 3　資源･エネルギー問題 4　人口問題 5　食糧問題 6　都市･居住問題 ※この分野で第一部第2章「現代世界の国家と領域」及び「グローバル化する世界」を扱う。	a：　グローバル化の進展や地球的課題の深刻化について理解できているか。 b：　地域の多様性に関わる基礎的・基本的な知識を基に、地球的課題の現状や要因について考察できているか。 c：　課題解決の方向性について、相互互恵の立場から国際協力の在り方を検討できているか。	定期考査 提出物 授業態度 ワークシート	定期考査 提出物 授業態度 ワークシート	定期考査 提出物 授業態度 ワークシート
三学期	自然環境と防災	1　日本の自然環境 2　地域･津波と防災 3　火山災害と防災 4　気象災害と防災 5　自然災害への備え	a：　我が国と世界の自然環境の特色と自然災害の特色について理解できているか。 b：　自然災害と社会の脆弱性の関連性や、それらを踏まえた地域の防災の在り方を考察できているか。 c：　生徒の生活圏での自然災害への対処の在り方を、考えられているか。	定期考査 提出物 授業態度 ワークシート	定期考査 提出物 授業態度 ワークシート	定期考査 提出物 授業態度 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度